

1. 建物概要

建物名称	浜松ホトニクス株式会社新員工場1棟	BEE	2.5	BEEランク	A	★★★★
------	-------------------	-----	-----	--------	---	------

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点※/満点	取組み度	評価
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進 (Global Warming)	3.8 /5		ふつつ
“災害に強いしずおか”の形成 (Disaster)	3.1 /5		ふつつ
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進 (Universal Design)	3.4 /5		ふつつ
“緑化及び自然景観”の保全・回復 (Nature)	3.4 /5		ふつつ
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示 します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例 よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上
			がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。		内訳対応項目	
“ふじのくに地球温暖化対策実行計画”の推進(Global Warming)		得点	3.8
 ■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ①外断熱工法の採用 ②トップライトの設置 ③ブラインドの設置 ④大規模補修不要予定期間約65年、供用限界期間約100年に計画 屋外ダクト等には耐用年数の長いステンレスダクトやガルバリウムダクトを採用 ガルバリウム鋼板ダクトを使用 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ⑤敷地外周部の積極的な緑化 ⑥主たる建築設備に伴う排熱は、建築物の高い位置から放出 ■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率運用) ⑦外断熱工法の採用、開口部の合理化 ⑧トップライトの設置 ⑨高効率な設備システムの採用 ■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型器具の採用 ⑫基礎梁に再生材を使用 ビニル系床材、断熱材、吸音材の使用 ISSの採用 ■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)		Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 ⑤ 3 3.2 ⑥ LR-1 1 ⑦ 2 ⑧ 3 ⑨ 4 4.1 ⑩ 4.2 ⑩ LR-2 1 1.1 ⑪ 1.2 1.2.1 ⑪ 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.1.1 ⑪ 2.1.2 ⑪ 2.1.3 ⑪ 2.1.4 ⑪ 2.1.5 ⑪ 2.1.6 ⑪ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 ⑭ 2 2.2 ⑮	① 外皮性能 ② 屋光利用設備 ③ 屋光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ⑤ 外壁仕上り材の補修必要間隔 ⑥ 主要内装仕上り材の更新必要間隔 ⑦ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ⑧ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ⑨ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑩ 生物環境の保全と創出 ⑪ 敷地内温熱環境の向上 ⑫ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑬ 自然エネルギー利用 ⑭ 設備システムの高効率化 ⑮ モニタリング ⑯ 運用管理体制 ⑰ 節水 ⑱ 雨水利用システム導入の有無 ⑲ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑳ 材料使用量の削減 ㉑ 既存建築躯体等の継続使用 ㉒ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ㉓ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ㉔ 持続可能な森林から産出された木材 ㉕ 部材の再利用可能性向上への取組み ㉖ 有害物質を含まない材料の使用 ㉗ 消火剤 ㉘ 断熱材 ㉙ 冷媒 ㉚ 地球温暖化への配慮 ㉛ 温熱環境悪化の改善
“災害に強いしずおか”の形成(Disaster)		得点	3.1
 ■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯節水型器具の採用、井水の利用、受水槽に緊急用水栓を設置 通信手段の多様化、浸水の防止措置、有線電話の設置		Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑰ 免震・制振性能 ⑱ 空調・換気設備 ⑲ 給排水・衛生設備 ⑳ 電気設備 ㉑ 機械・配管支持方法 ㉒ 通信・情報設備
“しずおかユニバーサルデザイン”の推進(Universal Design)		得点	3.4
 ■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑱空間のゆとり) ⑱階高は6.1mにて計画、壁長さ比率=0.1275 ■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)		Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑯⑰ 3 3.1 3.1.1 ⑱ 3.1.2 ⑱ Q-3 3 3.1 ⑲	⑯ ユニバーサルデザイン計画 ⑰ 階高のゆとり ⑱ 空間の形状・自由さ ㉒ 地域性への配慮、快適性の向上
“緑化及び自然景観”の保全・回復(Nature)		得点	3.4
 ■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) ㉒可能な限り外壁位置をセットバックし、外周部には植栽を計画 ■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善)		Q-3 1 ⑤ 2 ⑥ 3 3.2 ⑥ LR-3 2 2.2 ⑮	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ⑦ 敷地内温熱環境の向上 ⑧ 温熱環境悪化の改善